

## 2022年度 嘉原ゼミ紹介

■担当者：嘉原優子

■専門分野：民俗学、宗教人類学（宗教学）

宗教学とは哲学の領域の学問です。民俗学や文化人類学と同様に、文献資料や調査データなどを重視しますが、宗教学では「哲学的思索」がもっとも重視されます。

❖指導可能対象領域

- \* 聖地（パワースポット、神社など）や聖地巡礼に関する領域
- \* 年中行事・人生儀礼、その他の儀礼・信仰・呪術・占い等に関する領域
- \* 芸能・スポーツ・その他のパフォーマンス・アーツに関する領域
- \* 文学・芸術・映像作品などにおける宗教的表徴に関する領域
- \* 日本人の衣・食・住文化に関する領域

❖演習・ゼミの内容

「演習A」

卒業研究のテーマを絞る作業をします。各自、関心のある領域から自分でテーマを設定し、それらについての基本的理解を得るために文献探索や文献解題を行います。文献の探し方、レジュメの書き方、口頭発表の仕方などを合わせて指導します。また、他者の発表を理解し、質問する力を身につけるトレーニングを実施します。

「演習B」

「演習A」の成果をもとに研究テーマを絞りつつ知識を深め、先学の研究史をまとめます。あわせて客観的文章の書き方トレーニングを実施します。論理的思考や論理的文章を執筆する力を身に付け、問題提起ができるようにしましょう。

「卒業研究」

「日本文化演習A・B」の成果を踏まえつつ卒業研究のテーマを決め、卒業論文を作成します。論文では自分で提起した問題を根拠を挙げつつ解決していきましょう。

※いずれの授業も出席を重視し、各期、予備発表、研究発表が課せられます。質疑応答を重んじ、積極的な発言を評価します。各学期末にはレポートを提出していただきます。

❖主な卒業論文のテーマ

「揺れる祭礼行事—長崎くんちにみる伝統文化の観光利用と保存—」「オタク文化における萌え擬人化の誕生と発展」「災厄を祓う植物」「終活～死に方を考える人々」「日本の入浴習慣の変遷」「夏越の祓—茅の輪くぐりを中心に—」「凧を信じる～浜松まつりにおける初凧の力」「現代の芸道が抱える課題—華道を中心に—」「異性装の多様性と多面性」「猫の文化誌～化け猫から招き猫へ～」「日本における黒髪文化の変遷」「日本における音楽教育の変遷と展望」「芥川龍之介『羅生門』～怪異を想起させる象徴的記号」「異性交遊の技法」「恋愛成就～祈願の形～」等

❖演習履修前に履修しておくことが理想的な科目

「宗教学入門」「日本文化史入門」「伝承文化入門」「民俗学入門」「伝統芸能論」

❖面談日時

相談期間中、随時メールを受け付けています。状況に応じて日時を相談し、リモート面談、直接面談を実施します。

❖連絡先 yoshihara08@fsc.chubu.ac.jp